

理事	副理事	教育研究	医療	地域医療	経営渉外	管理運営	須藤次長	堀切次長	総務課長	企画財務課長	健康調査課長	学生課長	局主幹	岡崎主幹	印
藤島	須藤	勢	元	伊藤	伊藤	伊藤									

平成 24 年度第 10 回マネジメント会議記録

○日 時 平成 24 年 6 月 26 日 (火) 7:20～8:20

○場 所 理事長室

○出席者 理事長、副理事長、教育研究理事、医療理事、地域医療理事、経営渉外理事、管理運営理事、須藤次長、堀切次長、総務課長、企画財務課長、健康調査課長、学生課長、局主幹、岡崎主幹

○概 要

(甲状腺検査について)

- 先日副知事に話した内容について報告してほしい。
- (藤島理事) いわき市及び郡山市に拠点モデルを作る話をした。鈴木教授に人員配置をお願いしている。甲状腺検査前倒しのためには医師会との協力も必要となる。県と協議しながら進めていきたい。
- 検査スケジュールの公開に向けた工程表はどのようなになっているのか。次回に報告できるのか。
- (阿部理事) 次回出したい。
- スケジュールの公開をいつするのか。
- (藤島理事) 9 月の検討委員会に出したい。
- (阿部理事) 詳細は鈴木教授と詰めたい。
- いつ学会でオーソライズするのか。また、医師会との調整は誰が主体となって進めるのか。
- (藤島理事) 誰が主体となって進めるかを決めたい。
- 学内での決定はどのようなになるのか。
- (阿部理事) 毎週 1 回学内の会議があるので、今週中に鈴木教授と話をし、来週の本部会議で決めたい。
- その時にだれが医師会と調整をするのかを決めてほしい。県を巻き込まないといけない。
- 学会のオーソライズとはどのようなことか。
- (副理事長) 甲状腺学会が検査に対して全面的なサポートをするということである。
- 甲状腺学会がオールジャパンで応援するということを公表しているのか。岡崎主幹、山下副学長に話をつなぎ、次回報告するように。
- (岡崎主幹) 了解
- (藤島理事) 賠償責任保険に加入することについて県と合意した。予算は基金で対応する。仕組みについては保険会社に検討してもらっている。
- いつから保険に加入するのか。
- (藤島理事) 損害保険会社と大学で話している。2 週間後に報告したい。

(エコチル調査の全県拡大について)

- エコチル調査と県民健康調査の責任者を分けることとなった。責任者を考えてほし